

「体験活動プログラム研修会・地域活動指導員等研修会（第2回）」事業報告

1 事業名 平成29年度体験活動プログラム研修会・地域活動指導員等研修会（第2回）

2 期 日 平成29年10月4日（水）

3 参加者 26名

4 日 程

時 程	内 容
13:20	受 付
13:40	開会行事 「体験の風をおこそう」運動事業説明
13:50	研修1〈講話・演習〉 「子どもに寄り添う指導者のあり方」～ 人権意識から行動へ～ トントン王国 主宰 高宮 隆二 氏
14:50	
15:00	研修2〈講話・演習〉 「協調性やリーダー性を育むレクリエーションの指導」 ～ 集団づくりとふりかえり活動の技術～ トントン王国 主宰 高宮 隆二 氏
16:30	
16:40	閉会行事

5 活動の実際

研修1

(1) 内容

研修1では、前回（第1回）で研修した子どもの指導者として必要な人権意識を踏まえて、実際の行動に移したときの留意点を、レクリエーション（演習）をとおして押さえました。特に、講師の高宮先生からはアクティビティごとにその目的や意図の説明が行われ、指導上のポイントを全員で確認することができました。また、高宮先生から発せられた「できない子はいない。できるようになる早さが違うだけ」「一人勝ちや一人残りをつくらない」などの言葉は、参加者にとって子どもの個性や気持ちに配慮した指導の重要性を改めて考える機会にもなりました。



講師の高宮隆二氏



講話の様子

(2) 参加者の声

- レクリエーションの意図が分かるだけでなく、指導者の言葉かけ等を含んだ注意点を話していただき、大変参考になりました。
- ゲームの目的を考えて、創意工夫をしていくことの大切さを感じました。
- 目配り・気配りをするポイントを教えてくださり、勉強になりました。

研修2

(1) 内容

研修2では、レクリエーションをとおした集団づくりとふりかえり活動の留意点について学びました。参加者がグループをつくり、子どもの集団になったつもりで課題解決型のインシアチブゲームを実体験しました。この演習後に、グループでふりかえりを行う中で、高宮先生から活動中にメモをとっておくことの大切さやふりかえり中における注意点(「ふりかえりをし過ぎない」「ジャッジしない」等)の説明がありました。



集団づくりレクリエーション



ふりかえり活動の様子

(2) 参加者の声

- 協力し合いながら行う演習では、色々な意見が解決の糸口に繋がる事に改めて気付かされました。子ども達に還元出来るようにしたいです。
- 子どもの自分にかえったようでした。自分ひとりでは思いつけないことが、人が集まることで色々な気づきに出会えました。
- 高宮先生は参加者が発する言葉を大事にされ、それを全体に紹介するなど、参加者が意欲的に取り組むいい雰囲気できて参考になりました。
- レクリエーションをしていきながら、気にかけるポイント等を細かく話していただけたのが本当に良かったです。

6 全体をとおして

前回(第1回)は、知識・理解中心の研修内容であったことから、今回(第2回)はその継続性・発展性を考慮した技能中心の研修を実施しました。特に、前回は指導者としての活動のねらいの明確化や人権尊重への意識化が図られましたので、次は行動化へとつながるように実技を伴った指導が講師より行われました。アイスブレイクだけに留まらず、課題解決型のレクリエーションをとおして集団づくりを行いながら、全体への配慮と個人への配慮を全員で確認しました。参加者はレクリエーションを実践する中で、子どもへの指導における知識・理解が体感としてつながったようであり、今後の活動に向けて更に意欲的な姿勢が見受けられました(アンケート結果による)。実際に、研修翌日において子ども達に実践した参加者からの報告もあり、大きな自信になったようでした。

7 レクリエーションの様子

<パチパチインパルス>



<Have you ever...?>



<みなさ〜ん〇〇して下さい>



<あいこハイタッチ>



<ビート 1→5→1>



<ウエスタンチャレンジ 足し算・かけ算>



<スイッチオン>



<ボクコール>



<みんなオニ>



<バナナオニ>



<ゲー・チョコキ・パーオニ>



<ちょっかい 洗濯バサミ>



<ローエレクトリックフェンス>



<ヒューマンノット 人間知恵の輪>



<魔法の鏡>



<マシュマロリバー>



<魔法のじゅうたん>



<バタバタ>

